

「小児救急電話相談(#8000)」についてのアンケート結果

滋賀県では、夜間や休日における子どもの急変時に保護者からの相談を受ける「小児救急電話相談事業(#8000)」を実施しています。

この事業の認知度や利用状況の把握を目的として、アンケートを実施しました。

★調査時期:令和4年2月

★対象者:県政モニター296人

★回答数:237人(回答率80.1%)

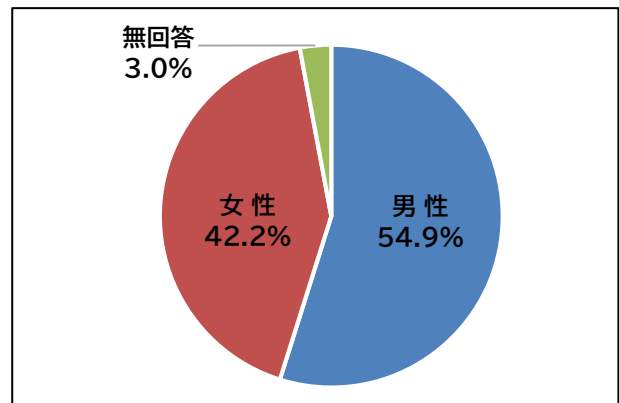
★担当課:健康医療福祉部 医療政策課

※四捨五入により割合の合計が、100%にならない場合があります。

【属性】

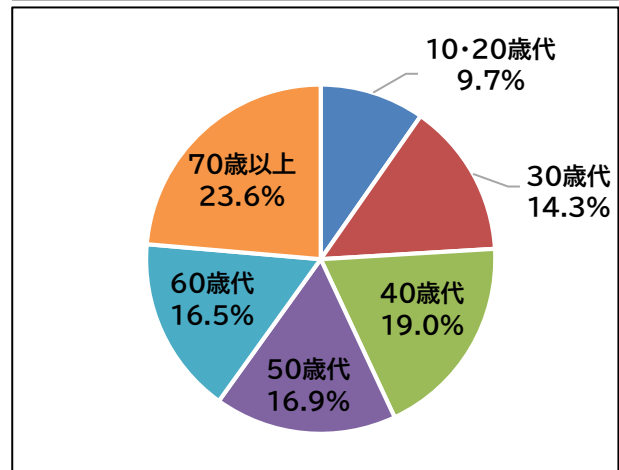
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	130	54.9
女性	100	42.2
無回答	7	3.0
合計	237	100.0



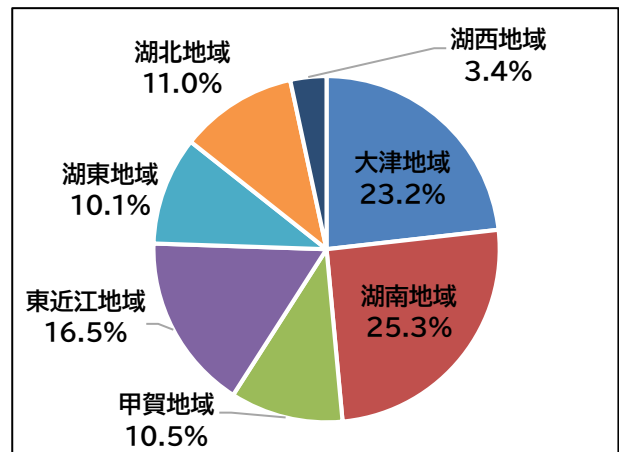
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	23	9.7
30歳代	34	14.3
40歳代	45	19.0
50歳代	40	16.9
60歳代	39	16.5
70歳以上	56	23.6
合計	237	100.0



◆地域

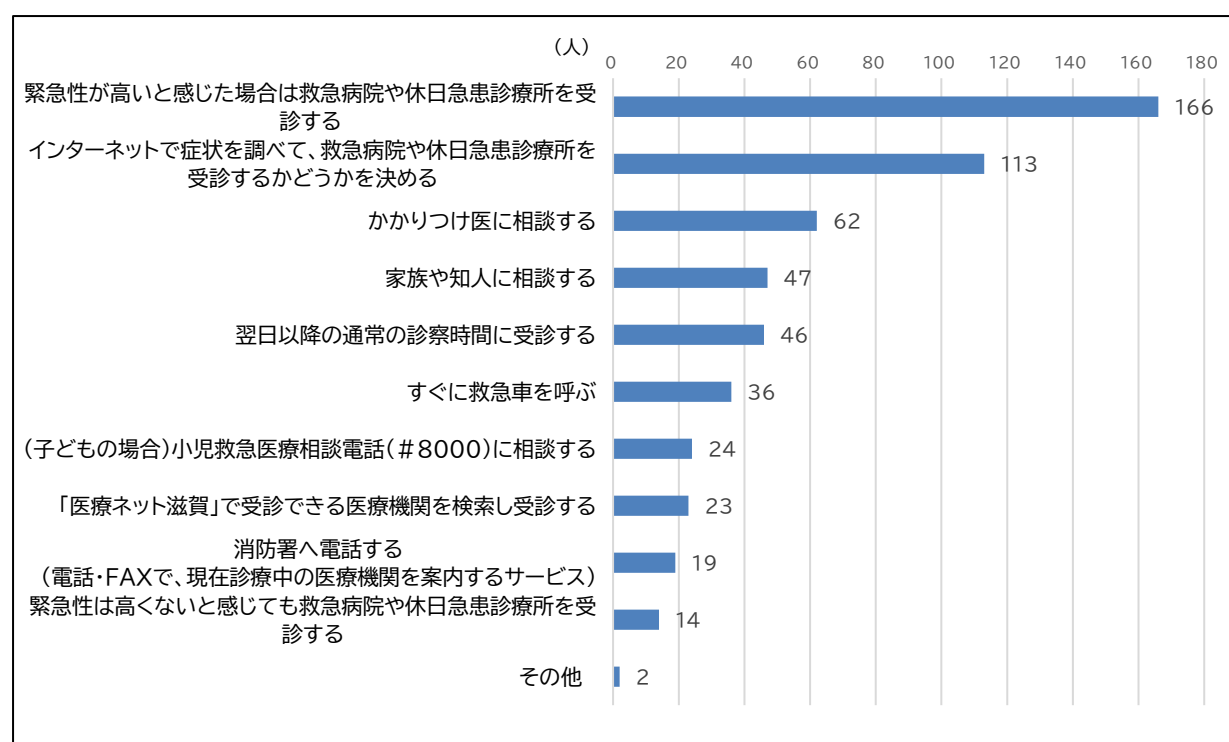
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	55	23.2
湖南地域	60	25.3
甲賀地域	25	10.5
東近江地域	39	16.5
湖東地域	24	10.1
湖北地域	26	11.0
湖西地域	8	3.4
合計	237	100.0



問1 あなたや家族が夜間や休日に急病やケガをしたとき、どのように対応していますか
 (すると思いますか)。

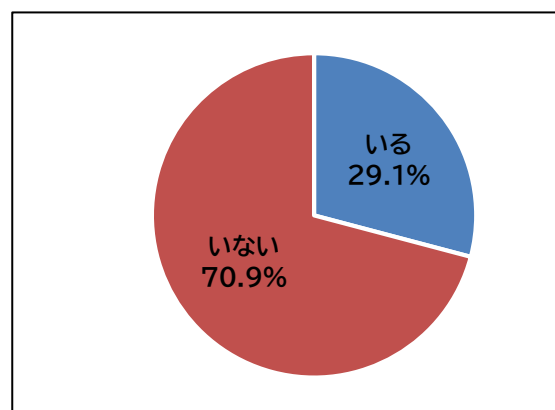
(回答チェックはいくつでも。 n=237)

項目	人数(人)	割合(%)
緊急性が高いと感じた場合は救急病院や休日急患診療所を受診する	166	70.0
インターネットで症状を調べて、救急病院や休日急患診療所を受診するかどうかを決める	113	47.7
かかりつけ医に相談する	62	26.2
家族や知人に相談する	47	19.8
翌日以降の通常の診察時間に受診する	46	19.4
すぐに救急車を呼ぶ	36	15.2
(子どもの場合)小児救急医療相談電話(#8000)に相談する	24	10.1
「医療ネット滋賀」で受診できる医療機関を検索し受診する	23	9.7
消防署へ電話する (電話・FAXで、現在診療中の医療機関を案内するサービス)	19	8.0
緊急性は高くないと感じても救急病院や休日急患診療所を受診する	14	5.9
その他	2	0.8



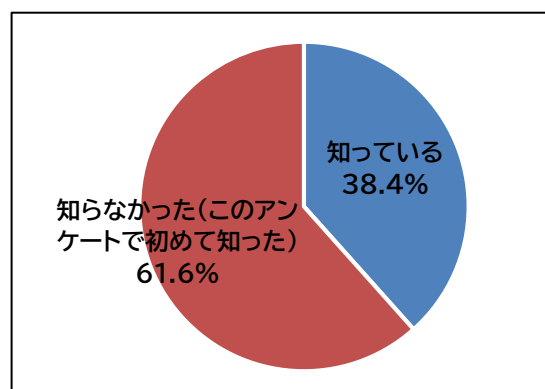
問2 現在、同居家族の中に中学生以下の方はいますか。
 (回答チェックは1つだけ n=237)

項目	人数(人)	割合(%)
いる	69	29.1
いない	168	70.9
合計	237	100.0



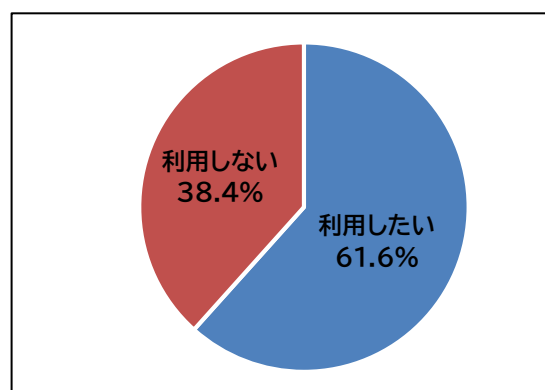
問3 子ども(中学生以下の方)が夜間や休日に、ケガをしたり、急に体調を崩したりして、すぐに医療機関を受診すべきかどうか迷った時に、電話で気軽に専門家(保健師、看護師、小児科医師等)に相談できる「小児救急電話相談(#8000)」があることを知っていますか。
 (回答チェックは1つだけ n=237)

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	91	38.4
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	146	61.6
合計	237	100.0



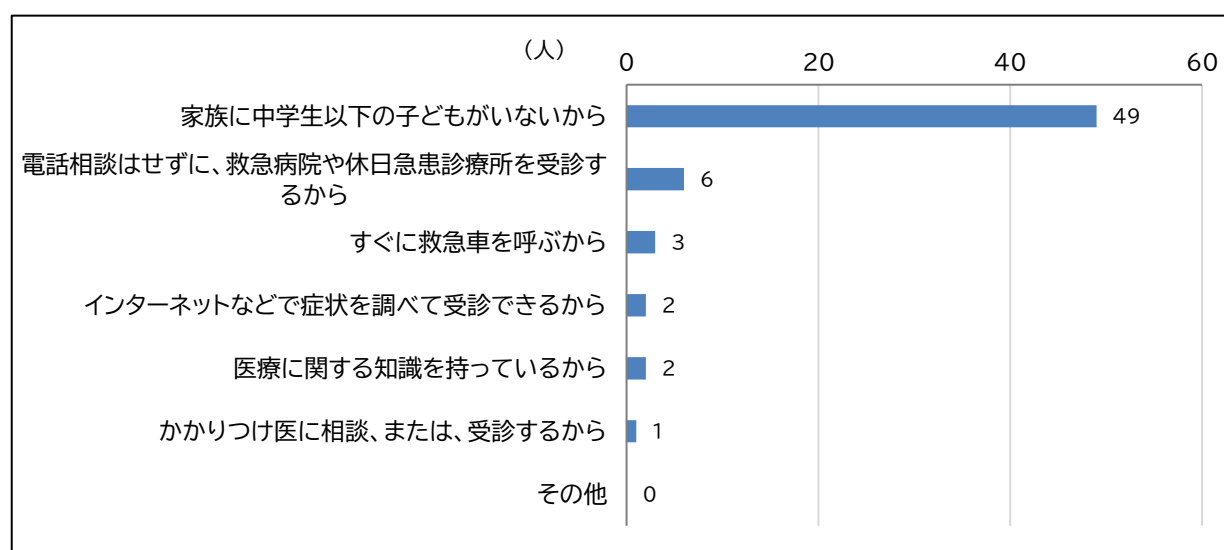
問4 問3で「2. 知らなかった」と回答された方にお尋ねします。
 「小児救急電話相談(#8000)」は、休日・夜間の子どものケガや急病で、病院に行った方が良いか判断に迷ったときに、小児科医師や看護師等に電話で相談できるサービスです。
 今回、「小児救急電話相談(#8000)」を知っていただき、今後利用したいと思われませんか。
 (回答チェックは1つだけ n=146)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したい	90	61.6
利用しない	56	38.4
合計	146	100.0



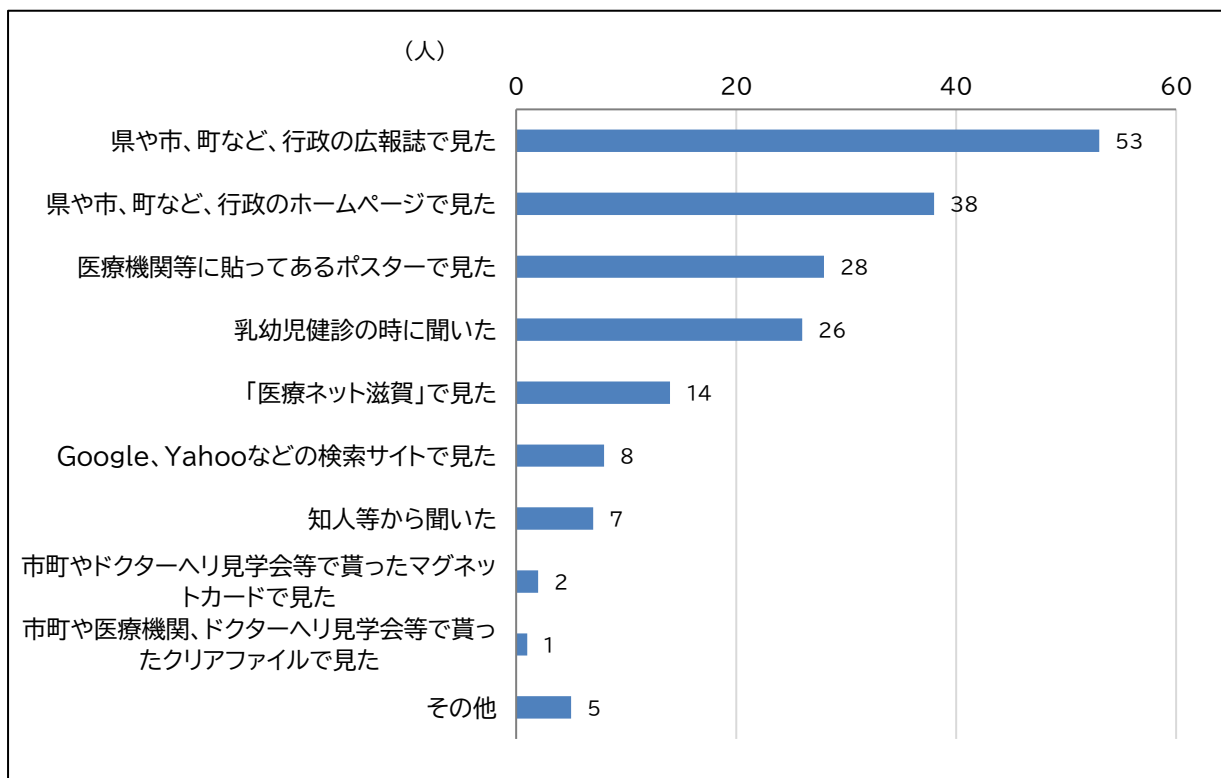
問5 問4で「2. 利用しない」と回答された方にお尋ねします。利用しないと思われる理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも)
(回答チェックはいくつでも。n=56)

項目	人数(人)	割合(%)
家族に中学生以下の子どもがいないから	49	87.5
電話相談はせずに、救急病院や休日急患診療所を受診するから	6	10.7
すぐに救急車を呼ぶから	3	5.4
インターネットなどで症状を調べて受診できるから	2	3.6
医療に関する知識を持っているから	2	3.6
かかりつけ医に相談、または、受診するから	1	1.8
その他	0	0.0



問6 問3で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。「小児救急電話(#8000)」を何で知りましたか。
(回答チェックはいくつでも n=91)

項目	人数(人)	割合(%)
県や市、町など、行政の広報誌で見た	53	58.2
県や市、町など、行政のホームページで見た	38	41.8
医療機関等に貼ってあるポスターで見た	28	30.8
乳幼児健診の時に聞いた	26	28.6
「医療ネット滋賀」で見た	14	15.4
Google、Yahoo などの検索サイトで見た	8	8.8
知人等から聞いた	7	7.7
市町やドクターヘリ見学会等で貰ったマグネットカードで見た	2	2.2
市町や医療機関、ドクターヘリ見学会等で貰ったクリアファイルで見た	1	1.1
その他	5	5.5

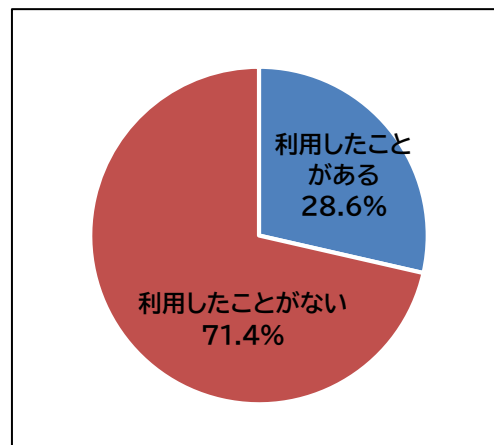


問7 問3で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。

子どもが、夜間や休日にケガをしたり、急に体調を崩したりした際、「小児救急電話相談(#8000)」を利用したことがありますか。

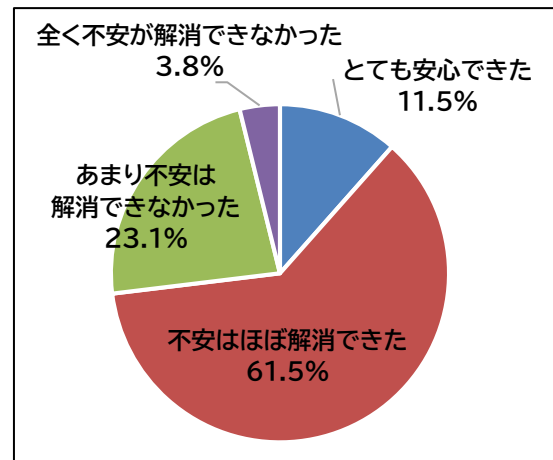
(回答チェックは1つだけ n=91)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	26	28.6
利用したことがない	65	71.4
合計	91	100.0



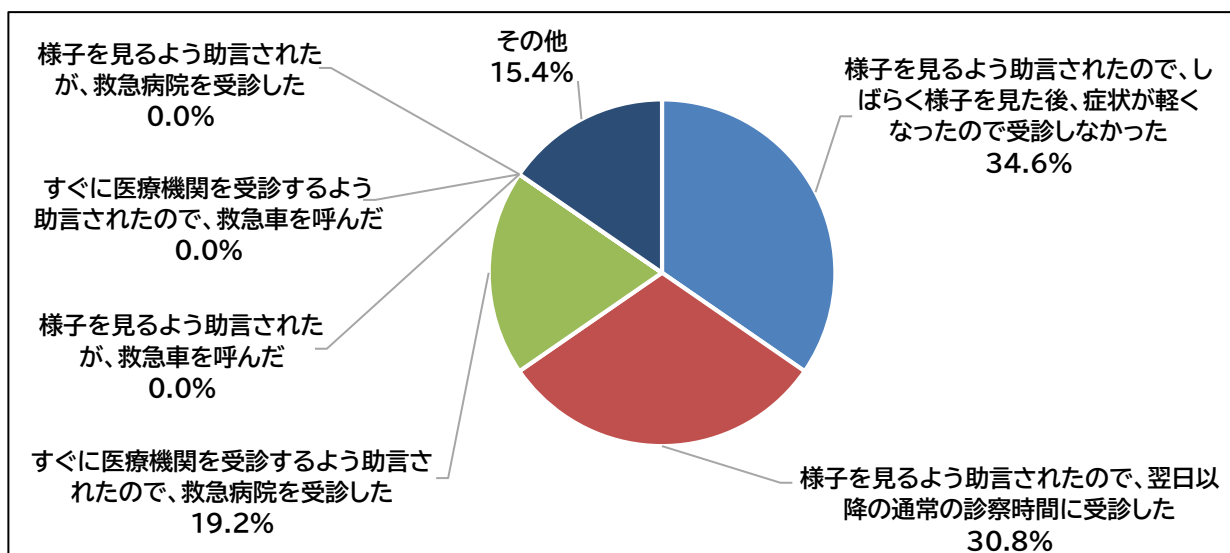
問8 問7で「1. 利用したことがある」と回答された方にお尋ねします。
 「小児救急電話相談(#8000)」を利用して不安は解消しましたか。
 (回答チェックは1つだけ n=26)

項目	人数(人)	割合(%)
とても安心できた	3	11.5
不安はほぼ解消できた	16	61.5
あまり不安は解消できなかった	6	23.1
全く不安が解消できなかった	1	3.8
合計	26	100.0



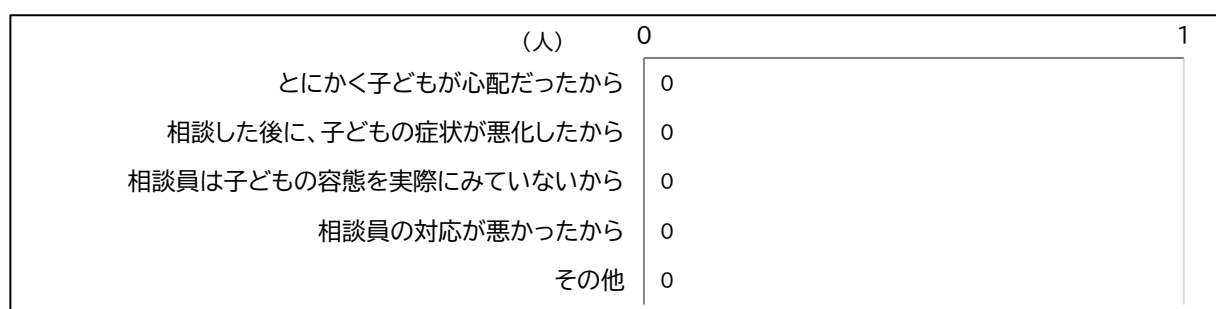
問9 問7で「1. 利用したことがある」と回答された方にお尋ねします。
 「小児救急電話相談(#8000)」に相談した後、どうされましたか。複数回利用された方は最後の利用の状況をお答えください。
 (回答チェックは1つだけ n=26)

項目	人数(人)	割合(%)
様子を見るよう助言されたので、しばらく様子を見た後、症状が軽くなったので受診しなかった	9	34.6
様子を見るよう助言されたので、翌日以降の通常の診察時間に受診した	8	30.8
すぐに医療機関を受診するよう助言されたので、救急病院を受診した	5	19.2
様子を見るよう助言されたが、救急病院を受診した	0	0
すぐに医療機関を受診するよう助言されたので、救急車を呼んだ	0	0
様子を見るよう助言されたが、救急車を呼んだ	0	0
その他	4	15.4
合計	26	100.0



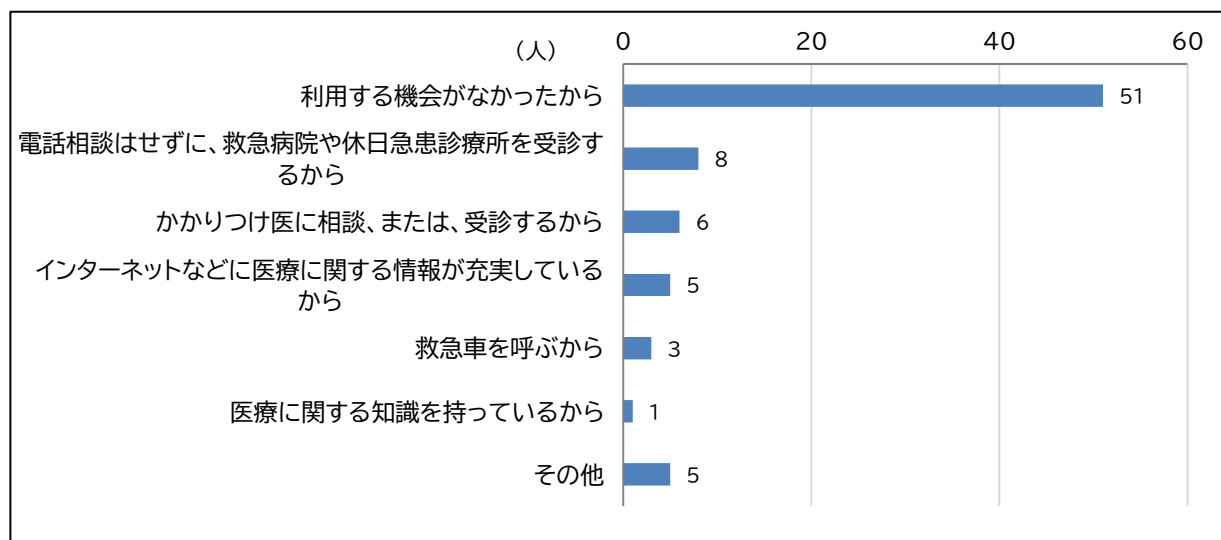
問10 問9で「5. 様子を見るよう助言されたが、救急病院を受診した」または「6. 様子を見るよう助言されたが、救急車を呼んだ」と回答された方にお尋ねします。あなたが、救急病院等を受診した理由を教えてください。
(回答チェックはいくつでも n=0)

項目	人数(人)	割合(%)
とにかく子どもが心配だったから	0	0
相談した後に、子どもの症状が悪化したから	0	0
相談員は子どもの容態を実際にみていないから	0	0
相談員の対応が悪かったから	0	0
その他	0	0



問11 問7で「2. 利用したことがない」と回答された方にお尋ねします。「小児救急電話相談(#8000)」を利用されなかった理由を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=65)

項目	人数(人)	割合(%)
利用する機会がなかったから	51	78.5
電話相談はせずに、救急病院や休日急患診療所を受診するから	8	12.3
かかりつけ医に相談、または、受診するから	6	9.2
インターネットなどに医療に関する情報が充実しているから	5	7.7
救急車を呼ぶから	3	4.6
医療に関する知識を持っているから	1	1.5
その他	5	7.7



問12 あなたが、小児医療電話相談や小児医療について、御意見や日頃感じていることを自由に記載してください(抜粋)

< #8000の利用 >

- ◆大人だと、自分の状態なのである程度の救急性はわかりますが、痛みや苦しみをうまく表現できない子供の状態の判断は難しいので、夜間や休日は相談できるため助かりました。
- ◆私が子育てをしていた 20 年前に比べて今は情報も手に入りやすくなっていたり、行政の対応もよくなっていると感じます。進んでいるという点で評価します。一方で、SNS 等を通じて医療デマや素人判断の情報が回回り、知らないうちに危険に晒されることも増えていると思います。情報を整理して、本当に有益なことを行政がわかりやすく発信する仕組みがあるといいなと思います。
- ◆不要不急なときに、安易に救急車を利用しないために、この制度は、役立つと思います。子供をお持ちのご家庭なら、ほとんどの方が、ご存じだと思います。それ以外の人たちにも、周知して、救急車の適切な利用が望めます。
- ◆事前に相談するところがあれば心理的に安心できるのではないかと感じていたので、今のシステムは今後も持続し充実させるべきではないでしょうか。
- ◆電話相談したところで、受診するには大津日赤まで行かなくてはならないとなると、遠いので覚悟がいらいます。(明らかに緊急なら救急車呼ぶと思いますが)。高島市で夜間休日に診てもらえる小児科ができることを願っています。
- ◆身近に内科医やかかりつけ医がいるため、電話相談を利用することがないと思う。

< 広報について >

- ◆ #8000、もっと情報発信をしたほうがいいと思います。今年度県政モニターに参加しましたが、このアンケートで初めて知るものばかりでした。県民にもっと知ってもらうために、情報発信方法を検討すべきと思います。
- ◆医療機関だけでなくさまざまな場所に掲示したりメディアなどで知らせることで、より認知してもらえと思う
- ◆PR しきれていないのではないかと、気にはなります。毎日、どこかで誰でもが目にするような広宣を考えて欲しいと思います。

< その他 >

- ◆コロナ禍で、大人もなかなか病院に行くのをためらってしまいます。オンライン診療システムなどありますが、大人向けにも似たようなシステム、もしくは「総合科」でどの科にかかればよいのか教えてもらえるというのもあればよいなと思います。
- ◆休日診療には内科外科医しかいない場合が多く、子どもの場合対応が充分ではないと思う。自宅をクリニックにしているような整形外科や小児科のかかりつけ医が夜間や休日でも電話したらみてくれるようならありがたいと思う。
- ◆個人のクリニックで土日夜間診療可能な施設が増えたり、医師会で持ち回り制で土日夜間の診療ができる施設を、地域にひとつでも開いていてくれたらありがたい。
- ◆開業医の小児科が混雑している。病院勤務の小児科医の数も少ないと感じる。今後、医師の働き方改革を進めていくにあたり、現場のニーズに応じた病院編成などを県として行ってほしい。